

平成30年 第1回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	日 本 共 産 党	1 9 番	山 田 喜 代 子	登壇一問一答方式
2	響（ひびき）	1 7 番	金 丸 和 史	一問一答方式
3	至 誠	1 5 番	小 川 義 人	一問一答方式
4	新 政	1 6 番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答方式
5	創 進	1 2 番	増 田 葉 子	登壇一問一答方式
6	公 明 党	7 番	浅 沼 美 弥 子	一問一答方式

日本共産党

質問者 19番 山田 喜代子

1 北総線高運賃問題について

去る1月21日、中央駅前交流館において「北総線運賃を考えるシンポジウム」が開かれた。主催は北総線の運賃問題に取り組んできた2団体。市内や沿線の住民も多く参加し盛況であった。日本女子大学教授の基調講演『消費者問題としての北総線高運賃』があり、私の思い一政治の側から、として市長の発言もあった。市長は値下げに向けて、どう行動する考えか、改めて伺う。

2 生活保護制度の拡充を

10月から生活保護費が段階的に減額される。憲法25条が保障する「健康で文化的な生活」がますます遠くなり、命さえ脅かされる事になる。

- (1) 利用状況はどうか
- (2) 生活にどの様な影響があるか
- (3) 減額されることに対する認識
- (4) 利用者の生活をどう支える考えか

3 市営住宅の建設を

新規の戸建て住宅、マンション建設が進む一方で、空き家、UR賃貸住宅の空室が増え続けている。これらの増加は防犯面の弊害を生むばかりでなく、地域のコミュニティさえ崩壊させていく。問題の解決策として空家、空室を市営住宅として活用する考えはないか。

4 地産地消の推進を

市は豊かな自然とともに水田や畑、果樹園など多くの優良農地が広がっている。それは何よりも大消費地も控えている。その立地条件を活かして、どう地産地消を推めていく考えか。

5 周辺道路環境整備に関する陳情に応える考えは

平成28年3月、市議会に対し上記の陳情が提出された。当該地区の大森第2地区は、道路側溝の破損や大半の場所で勾配がとれておらず汚泥が溜り梅雨時や大雨の時には場所によりオーバーフローしている状況である、ことを訴える内容だ。

- (1) どう解決をはかる考えか

(2) 同様の状況の地域は把握しているか

6 市有地の有効な活用を

平成29年3月「印西市公共施設等総合管理計画」が策定された。公共施設保有量（延床面積）を34年間で34パーセント縮減するとしている。

〈ソフト面での取り組みによる削減方法例〉の中で、跡地等の未利用地の売却とあり、市長も議会でそう答弁している。果たしてそれが市民の利益につながるのか。現在、不足している施設、あるいは将来必要となるであろう施設の建設用地として活用すべきと考えるが、どうか伺う。

響（ひびき）

質問者 17番 金丸和史

1 印西市の人口10万人到達記念イベントに関すること

(1) 詳細は、予算審査常任委員会の審査となるものと考えているが、現時点におけるイベントの内容はどのようなものを想定しているのか。

(到達時の市民への記念品、イルミネーションだけなのか。)

(2) 市民公募は行わないのか。

2 平成30年度に向けた組織の改編計画に関すること

(1) 改編はあるのか。

(2) 「(仮称)住宅政策課」の新設はどうなるのか。

(3) パスポート発券業務はどのようになる予定か。

3 審議会及び協議会等の設置状況に関すること。

(1) 設置数はどのような状況か。

(2) 決算総額及び予算総額はどのような状況なのか。

(3) 今後はどのように考えているのか。

4 国民年金に関すること

(1) 受給のための加入期間短縮の影響はどうか。

(2) 周知はどのように行ってきたか。

5 北総鉄道に関すること

- (1) 運賃値下げに向けた取り組みの現状は。
(他市との協議は、進んでいるのか。)
- (2) 千葉ニュータウン中央駅と印西牧の原駅との中間駅の新設の可能性について
 - ①庁内での研究は進んでいるか。
 - ②以前から申し上げているが、調査費を計上してはどうか。

6 「印旛中央地区」に関すること

- (1) URとの協議を含めて、現在、どのようになっているか。
- (2) 印西市としてどのように取り組んでいく意向なのか。

7 戸神台及び中央南地区の地域の防災に関すること

- (1) 防災計画ではどのようになっているか。
- (2) 今の計画のままでよいと思っているのか。

至 誠

質問者 15番 小川 義人

1 災害対策について

- (1) 業務継続計画について
- (2) 市議会との連携について
 - ①災害対策本部での位置づけ
 - ②情報共有

2 人口10万人突破を間近に控えて

- (1) 記念行事・事業について
- (2) 予算について

3 地域包括支援センター事業について

- (1) 相談しやすい環境づくり
- (2) 支援事業がしやすい環境づくり
- (3) 行政の役割
- (4) 委託費の算出根拠

4 ごみ減量化に向けた取り組みについて

- (1) ごみ減量化の施策について
 - ①生ごみ
 - ②紙ごみ
- (2) 再資源化率向上への取り組み
 - ①進捗状況
 - ②有価物集団回収奨励金
- (3) 新たな技術の調査・研究

5 通学路で子どもたちの安全を守るために

- (1) 通学路の検証
 - ①現状・危険箇所の把握
 - ②通行規制
- (2) 高齢者ドライバーへの対応

6 均等な基盤整備について

- (1) 小林駅南口駅前整備事業について

新 政

質問者 16番 軍 司 俊 紀

1 空き家対策の現状について

平成27年5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行されました。印西市では、この法律に基づき、「特定空家等」該当する場合は、空き家等の所有者に対して助言・指導、勧告または命令などの措置を行うこととしていますが、特定空き家への認定に至っていない「空家」が市内には多く見られるようになってきています。

- (1) 市では広報やホームページを通じて、空き家等の適切な管理としての対策を呼びかける情報提供を行い、情報提供を求めているが、現状はどうなっているのか。
 - ①情報提供はあるのか
 - ②協定を結んだ司法書士会、シルバー人材センターとは十分な連携はとれているのか
- (2) 空き家等に関するアンケート調査・集計は進んでいるのか。

- (3) 第3回定例会で「空き家の除草についての陳情書」に関して、議会では採択との結果となっておりますが、その後印西市では何らかの行動はあったのか。
- (4) 空き家等対策条例の制定にむけて、平成30年度はどのような流れとなるのか。

2 「印西市公共施設等総合管理計画」と人口の増加について

印西市では、住民ニーズに対応した行政サービスを提供するために整備してきた、さまざまな公共施設及びインフラ資産（公共施設等）を保有しています。昨年3月に印西市では、今後も市民ニーズに適切に対応した市民サービスを提供し続けるため、長期的な視点を持って公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的に、「印西市公共施設等総合管理計画」を策定しています。

一方で、印西市では短期的な視点で見れば、引き続き人口増加が進み、特にニュータウン各地域ではこの傾向が顕著で公共施設が足りないという声も聞く。今後の印西市の目指すべき姿をお聞きする。

- (1) 総合管理計画の周知は充分に行われているのか。
- (2) 「公共施設白書」の策定について検討は行われているのか。
- (3) ニュータウン各地域の住民利用施設（会議室を持つコミュニティ施設や福祉施設等）の現状をどのようにとらえ、今後についての考え方をもっているのか。ニュータウン3地区についてお聞きする。
 - ①千葉ニュータウン中央地区
 - ②印西牧の原地区
 - ③印旛日本医大（いには野）地区

3 地域包括ケアシステムの構築に向けて

今後、認知症高齢者や単身高齢世帯等の増加に伴い、医療や介護サービス以外にも、在宅生活を継続するための日常的な生活支援（配食・見守り等）を必要とする方の増加が見込まれます。

そのためには生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加だと考えますが、印西市ではどのような施策をとっていくのか。

- (1) 民生委員の仕事が過重になっているように感じるが、市ではどのように考えるのか。
- (2) 買い物支援について、印西市ではどのような考え方を持っているのか
- (3) 高齢者の社会参加にむけて、市ではどのような施策をもっているのか
- (4) 生活支援サポーター養成講座を設けているが、周知は充分か。

4 子ども・子育て支援について

国では平成24年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、このことにより幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援を総合的に推進するための「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から始まりました。

印西市でも「子ども・子育て支援法」第77条第1項の規定に基づき同項の合議制機関として、印西市子ども・子育て会議を設置している。

- (1) 印西市子ども・子育て会議では「印西市内保育園 空き状況」から読み取れる、現状の保留児童数について、どのように考えているのか。
- (2) 潜在的なものを含め教育・保育・子育て支援のニーズが適切に把握されているか（過剰に見積もっていないか、不足していないか。）議論されているのか。
- (3) 子どもたちの生活実態を調査する必要はないか。
- (4) 学童保育について、どのように議論されているのか
(特に木下・牧の原の待機について、今後の見通しを含めてお聞きする。)

5 北総鉄道について

北総鉄道では昨年12月28日に決算情報「2017年度上期決算について」を発表しました。

その報道の中では、今年度上期は増収・減益と依然として、有利子負債747億円をかかえ、累積赤字は未だ105億円と巨額との記載がある。印西市ではこの報道を受けて、どう考えて、値下げ活動につなげていくのか。

6 牧の原地区の将来について

- (1) 原小学校の校舎増築が予定されていますが、草深地区の住宅建設や今後の牧の原駅南口の土地分譲を考慮にいれているのか。
- (2) 市道00-026号線 草深こじか保育園前の信号設置について要望が上がっているが、設置にむけてどのようになっているのか

創 進

質問者 12番 増田 葉子

1 これからの図書館の役割は

印西市の図書館は、大森図書館を中心に、小林、そうふけ、小倉台、印旛、本埜の6館体制で、市民の生涯学習、教育、文化の振興のために運営されています。祝日の開館など、市民サービスの向上に努められていますが、他市では、民間委託、Web図書館、民間図書館との連携など、次々と新しい技術、新しい運営が導入され、印西市は少し出遅れ感が否めません。そこで、今後の方針とともに、改めて公共図書館の役割とは何かを伺いたく以下の質問をいたします。

- (1) 図書備品、図書消耗品の購入実績はどのように推移しているか。
- (2) 図書館運営方針では、「各館それぞれの創意工夫による運営をする」とあるが、各館の特徴はどのようなものか。
- (3) 各館の人員体制はどうなっているか。
- (4) 図書館の統廃合や新設について、どのような検討をしてきたか。
- (5) 公立図書館の役割とは何だと考えているか。

2 ニュータウン中央駅前に文化施設を

前議会で、人口が増えているニュータウン地区に文化施設や子どものための施設の整備が必要ではないかと提言し、「次期総合計画の中で検討していく」という答弁をいただきました。次期総合計画を財政的な裏付けと考えるならば、現段階からしっかりと整備方針をもっていただく必要があります。そこで、再度、改めて施設整備の必要性と可能性について伺います。

- (1) ニュータウン中央地区に文化施設を整備する必要があると考えるか。
- (2) 整備に向けてはどのような条件が必要となるか。

3 地域猫のいるまちに

思い起こせば平成20年第4回定例会で、動物愛護をテーマに質問させていただき、この議場で「地域猫」の活動を初めて紹介させていただきました。当時はまだ印西市での実現は難しいかと思いましたが、現在では、近隣の多くの自治体で取り組みが始まり、県もガイドラインをつくり推奨しています。昨年年第2回定例会でも質問があり、「人と猫が共生できる仕組みづくりを研究したい」という答弁がありました。まもなく新たな命の誕生の季節を迎えます。研究がどのくらい進んだのか、以下、お伺いします。

- (1) 地域猫活動は市の政策でどのように位置付けられているか。

(2) 人と猫が共生できる仕組みとは、具体的にどのようなものか。

4 来年度の子ども発達センターは

昨年の第2回定例会で、子ども発達センターの状況をお聞きし、施設面の拡充、専門職の配置、対象年齢の見直しを提言していますが、その後の取り組みはどうなっているのでしょうか。人口が増えているということは、支援の必要な子どもも増えていることになります。喫緊の課題ですので、以下、伺います。

- (1) 施設はどのように拡充されるのか。
- (2) 専門職は専従で配置されるのか。
- (3) 対象年齢の引き上げは検討されたか。

5 医療ケアのニーズについて

第5期障害福祉計画が策定の最終段階と思いますが、国からの方針に示されたとおり、医療ケアを必要とする子どもたちへの対応が求められています。印西市は他市と比較して在宅医療の資源が少ないと感じていますが、地域共生型社会の観点から、市内の在宅医療のニーズをどのように把握しておられるのでしょうか。以下、お伺いします。

- (1) 児童、障害者、高齢者の在宅医療のニーズをどう把握しているか。
- (2) 市として、今後、取り組むべき課題は何か。

6 中央駅前サービス向上プロジェクトの内容は

一昨年の第4回定例会で、人口の増加とこれからの急激な高齢化に備え、とくに人口が増えているニュータウン地区で保健施設の充実が必要ではないかと訴え、UR都市機構の事務所跡に、拠点的な保健センターが整備できないかと提言しました。財産として取得する方針は決定していると思いますが、その後の検討はどのようになっているのでしょうか。

- (1) 保健センターの充実は必要であると考えているか。
- (2) 財産取得の交渉はどのようになっているか。

公 明 党

質問者 7番 浅 沼 美弥子

- 1 持続可能な開発目標（SDGs＝エスディージーズ）の取り組みについて
2015年9月第70回国連総会で、持続可能な開発のための目標（SDGs）が採択された。SDGsでは、2030年までに世界全体で取り組む17分野と169項目の目標が挙げられている。政府は2016年5月にSDGs推進本部を設置。日本が特に力を入れる「あらゆる人々の活躍の推進」や「健康・長寿の達成」「平和と安全・安心社会の実現」など8項目の優先課題を掲げ、女性の活躍や、がん対策の推進など140の施策を盛り込んだ実施指針を策定した。特に、SDGsの根底に流れるだれひとり取り残さないという基本方針は、国が掲げる1億総活躍プランと共鳴することから、SDGs達成に向けた取り組みを促進することとしている。また、2020年度からは、次期学習指導要領にSDGsの理念を反映することも決まっている。

当市においても、SDGsの視点で施策をとらえなおすことで、持続可能なまちづくり、誰一人取り残さないまちづくりが促進され、誰もが住みよさを実感できる街となるのではないかと考える。印西市におけるSDGsについての認識を伺う。

2 子育て支援について

(1) 「医療的ケア児」等に対する支援

たんの吸引や人工呼吸器の装着、チューブで栄養補給する経管栄養など、日常生活の中で医療的な支援を必要とする「医療的ケア児」と呼ばれる子どもが、医療の進歩を背景に、年々増加しています。厚生労働省の推計によると、2015年度、19歳以下の医療的ケア児は全国に1万7千人。この10年間で約1.8倍に増えました。医療ケア児が希望をもって生きていける支援体制の整備、家族に対する行政支援は欠かせません。以下伺う。

- ①近年の医療的ケア児の状況。
- ②保育所等入所状況。
- ③小中学校等の受け入れ状況。
- ④家族等への支援状況。

(2) ひとり親家庭への支援

①未婚のひとり親世帯は「寡婦控除」の対象外のため、税負担はもとよりそれに基づき計算される保育料などの負担も重くなっている。そこで、寡婦控除の「みなし適用」を行うことを提案し、市長から前向きな答弁があ

った。その後の検討状況はどうか。

②離婚時の養育費の取り決め支援について

離婚した父親から養育費を受け取っている母子世帯は4人に一人を下回っている状況を改善するため市として可能な支援策を伺う。

(3) ファミリーサポート事業の拡充

①これまで実施する中でどのような声があったか。

②今後の事業について伺う。

(4) 妊娠・出産・育児支援

①不育症支援事業の検討状況。

②陣痛タクシー(=マタニティタクシー)の導入支援。

③産後支援策。

④子育て包括支援センターの検討状況。

3 学校での心肺蘇生教育の普及推進等、危機管理体制の整備について

(1) 学校等におけるAEDの設置状況。

(2) 教職員への心肺蘇生・AED講習等の実施状況。

(3) 小中学校における児童生徒への心肺蘇生・AED教育等の現状。

(4) 今後の方向性。